

佐々木ゼミ：考え、体験する「第二言語習得論」

担当：佐々木みゆき 研究室：人文社会学部棟525室 ゼミ室：715室

第二言語習得論とは？：第二次世界大戦後に生まれた若い学問である「応用言語学」の中核をなす学問分野です。人は、なぜ、どのように、第二の言語を使うようになるのか、第二言語をより効率的に学ぶ方法はあるのか、などについて研究する分野です。

ゼミの目的：このゼミでは、「第二言語習得論」と、関連領域である「外国語教育論」を中心に、現在最もホットなトピックを選び、最終的には、「研究テーマを体験する」卒業論文を書くことをめざしています。又、社会に出た時に役立つような論文構成やプレゼンの技術を身につける訓練もします。

各学期の学習到達目標：具体的には、以下のように授業をすすめます。

- 2年後期**：「土台のしっかりした卒論」を書くために、第二言語習得論の基礎知識や用語を学ぶ。
- 3年前期**：第二言語習得論や外国語教育論の最先端のトピックを選び、実際に日本語や英語の論文を読む事で、応用言語学の分野での論文の書き方や構成法を学ぶ。
- 3年後期**：ゼミ全体で一つの大きな研究テーマを選び、仲間と一緒に実験を「体験」する。その際、自分が考えた事、感じた事を記録する。自分の成長と仲間の成長を観察、比較する。
- 4年前期**：「3年後期で『体験』した実験結果がなぜそうなったのか、自分の感じた事は他の人と同じか、違うか、なぜそうなのか」を考え、仲間と議論する中で、卒論のテーマをさらに深めたり、関連テーマを探し、追加の実験を計画・実行する。
- 4年後期**：研究の結果をまとめる過程で、自分の外国語学習や将来やってみたいこと（例：語学教育、異文化で働く）への有意機な示唆を得る。

最近の卒論のタイトル例：

- ①Facebookでの第一言語と第二言語使用：4カ国語の母語話者の比較
- ②日本人学習者の留学中のFacebookとSNS課題の英語書き込みの変化：動機づけとの関連から
- ③第二言語での剽窃（パクリ）行動への大学生と社会人の意識の比較

ゼミ生に対する希望：次のうちできるだけ多くの事項を満たしている人を希望します。

- 1、英語教育や日本語教育に興味がある人
- 2、留学に興味がある人
- 3、英語力を伸ばしたいと思っている人
- 4、ゼミ生全員のための行事（コンパや旅行など）を積極的に計画・実施できる人

